

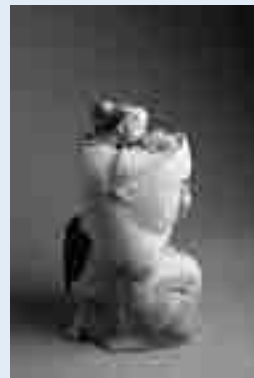


特別展

## こどものかたち —— 創作人形の力展

～平田郷陽・野口光彦を中心に～

昭和初期に人形芸術運動で人形の芸術的価値を高めることに尽力した、平田郷陽（1903-1981）と野口光彦（1896-1977）の二人の人形作家を中心に、子どもや親子のかたちを表した作品を紹介します。



▲平田郷陽「抱擁」  
（1966年、個人蔵）



▲野口光彦「童心戯笛」  
（1956年、当館蔵）

期 間 10月3日(土)～11月23日(祝)

開館時間 9時～17時（入館は16時30分まで） 休 館 日 月曜日（祝・休日を除く）

観 覧 料 一般…500円、高校生・大学生・65歳以上…250円、小・中学生…150円  
※上記期間中の特別料金です。

特別展をさらに楽しんでいただくための関連イベントを開催します！

### 学芸員によるスライドトーク

日 時 10月11日(日)・25日(日)、  
11月3日(祝)・21日(土)  
13時30分～14時

内 容 スライドを使った特別展の見どころ  
の解説

申込み 当日、直接、同館へ。  
※観覧料が掛かります。

### 講演会「創作」のありか —— 郷陽、光彦、堀柳女をめぐる

日 時 11月8日(日) 14時～15時30分

内 容 佐倉市立美術館学芸員である本橋浩介氏  
による本特別展に関する講演

定 員 30人（抽選）

申込み 10月12日(月)(消印有効)までに、往復はがき  
で、行事名、郵便番号・住所、氏名(ふりが  
な)、電話番号を、同館へ。

その他のイベントについては、23 ページをご覧ください。

## 岩槻人形博物館って知ってる？

日本有数の人形産地である岩槻区に、日本初の人形専門公立博物館として、今年2月に開館しました。岩槻に伝わる人形作りの技をはじめ、日本文化の中に息づく人形の美と歴史を調査研究し、その魅力や奥深さを広く国内外に発信していくミュージアムを目指しています。

住 所 〒339-0057 岩槻区本町6-1-1

交 通 岩槻駅から徒歩約10分

公式サイト <https://ningyo-muse.jp/>



詳しくは、岩槻人形博物館(TEL 749・0222、FAX 749・0225)へ。

みんなで  
選ぼう!

## 市民会館おおみやの 愛称候補に投票を!

市民の皆さんから愛称を募集し、次の3つが候補となりました。愛称としてふさわしいと思うものに、ぜひ投票してください。

### 愛称候補

#### ● RaiBoC Hall

レイボックホール

大宮地区を象徴する3つの文化である、鉄道(Railway)・盆栽(Bonsai)・漫画(Cartoon)を合わせた造語

#### ● ミクシウム

mix(混ぜる、一体となる)とI am(私)を合わせた、「人のまじわり」を意味する造語

#### ● 芸術広場

文化芸術の発信の場として、とても広くて色々な人が集まる場所

※詳細は、投票用紙又は市ホームページをご覧ください。

「市民会館おおみや」は、令和4年4月、大宮駅東口駅前の再開発事業で建設中の複合施設の4～8階に移転します。

大ホール(約1,400席)、小ホール(最大約340席)に加え、展示室、集会室、スタジオなどもあり、市民の文化・芸術の発信拠点として、これまで以上に充実した施設となります。



**投票用紙** 各区情報公開コーナー、市文化センター(南区根岸)、各市民会館、プラザノース(北区宮原町)、プラザウエスト(桜区道場)、プラザイースト(緑区中尾)などで配布中  
※市ホームページでダウンロードや投票もできます。

**投票期限** 10月23日(金)(消印有効)

詳しくは、文化振興課(☎829・1227、FAX 829・1996)へ。



## 絆をつなぐ

### スマートシティ先行モデルプロジェクトに選定されました

本市のスマートシティ推進事業が、国土交通省のスマートシティ「令和2年度先行モデルプロジェクト」に選定されました。

本事業は、大宮駅・さいたま新都心周辺地区を対象に、情報通信技術(ICT)や人の流れなどのデータを次世代のまちづくりに活用し、交通結節点とまちが一体となった「スマート・ターミナル・シティ」を目指すものです。今年度は、電動アシスト自転車・スクーター・超小型電気自動車などのモビリティを複数箇所で共同利用する「シェア

型マルチモビリティサービス」の実証実験を行います。

今後は、美園地区と大宮・さいたま新都心地区をモデル地区として、産学官で連携しながら、スマートシティの取り組みを推進してまいります。本市の先進的なまちづくりにご期待ください。



さいたま市長 清水勇人

# オクトーバー・ラン&ウォーク 2020

専用アプリで走行・歩行距離を競い、毎日の運動習慣を身につけながら健康づくりをすることができます。

参加無料



## Coming Soon...

アプリを使い期間内の累計で完走を目指すオンラインマラソンを、令和3年1月に開催予定です。詳細は11月号でお知らせします。



**開催期間** 10月1日(木)～31日(土)



**参加方法** 専用アプリをダウンロード。詳細は公式サイトをご覧ください。  
<https://arbeee.net/>



**問合せ** 大会事務局 ☎october@runners.co.jp

詳しくは、スポーツイベント課(☎829・1730、FAX 829・1996)へ。

令和3年  
4月からの

## 保育施設 の申込みが始まります

**申込期間** 10月16日(金)～30日(金) 9時～17時

※10月17日(土)・18日(日)を除きます。

**利用申込書** 10月1日(木)から、各区支援課、各保育施設、各支所・市民の窓口で配布

**申込場所** 各区支援課、又は第1希望の保育施設  
※各支所・市民の窓口では申し込めません。  
※10月24日(土)・25日(日)は、第1希望の保育施設を管轄する区の支援課のみで申し込めます。  
※市外の保育施設を希望する方は、お住まいの区の支援課に相談してください。  
※利用の決定は、先着順や抽選ではありません。

**対象** 就労・病気などの事情により、日中、子どもを家庭で保育できない方

保育コンシェルジュを  
ご利用ください

保育を希望する方からの相談を受け、ニーズにあった施設や保育サービスをご案内します。  
※各区専用ダイヤルもあります。電話番号は市ホームページでご覧になれます。

保育施設や申込方法など、詳しくは [さいたま子育てWEB](http://www.saitama-kosodate.jp/) でご覧になれます。☎<http://www.saitama-kosodate.jp/>



詳しくは、各区支援課へ。

# 健康な1日は朝ごはんから!

朝ごはんを食べると、脳や体が目覚め、生活リズムが整います。  
バランスのよい朝ごはんを食べて、心も体も元気に1日をスタートしましょう!



## バランスのよい 朝ごはんを食べると...

- ✓ 勉強や仕事の集中力・能率が上がる
- ✓ 一日の生活リズムが整い、  
排便が促される
- ✓ 体温が上がり、基礎代謝量が増え、  
脂肪を燃焼しやすい体になる
- ✓ 朝食でたんぱく質をとると、  
夜スムーズに眠れる



パンやごはんなどの主食だけでなく、主菜(卵、納豆・豆腐などの大豆製品、魚、肉)や副菜(野菜、海藻、きのこ、いも)も組み合わせて食べましょう。

## カリフローレのレシピを紹介しています

食育ナビ(<http://www.saitamacity-shokuiiku.jp/>)では、市内で生産されているヨーロッパ野菜「カリフローレ」を使ったレシピなど、朝ごはんにおすすめのレシピを紹介しています。

今が旬のカリフローレのレシピは、市役所 健康増進課、にぎわい交流館いわつき(岩槻区本町)、各区保健センターなどで配布もしています。



詳しくは、健康増進課(☎829・1294、FAX 829・1967)へ。

# おいしく楽しく食品ロスを減らしましょう

市内の家庭では、1人1日約30グラムの食品がまだ食べられるのに捨てられています。  
私たち一人ひとりが食べ物を大切にすれば、食品ロスを限りなくゼロに近づけることができます。

<応募期間>

10月1日(木)~  
11月30日(月)

## キャンペーンに参加して素敵な賞品をゲットしよう!

### チームEat All

食品関連の事業者と連携し、みんなで・ぜんぶおいしく食べきって、食品ロスを出さない社会をつくることを目指しています。



アンケートに答えてキャンペーンに応募しよう!  
抽選で「電気圧力鍋」などをプレゼント!

**応募方法** 各区情報公開コーナーなどで配布中の応募はがき付きリーフレット又は特設ウェブサイト(<https://saitama-foodloss-cp.jp/eatall/>)からアンケートにお答えください。



### Saitama Sunday Soup (日曜日は食べつくスープ!)

「おいしく減らす、食品ロス」をコンセプトに、余った食材は日曜日の夜にスープにして食べつくそう、という取り組みです。



Instagramに投稿してキャンペーンに応募しよう!  
抽選で「真空断熱スープジャー」をプレゼント!

**応募方法** 「日曜日は食べつくスープ」Instagramアカウント(@saitama\_sunday\_soup)をフォローし、皆さんが作った食べつくスープの写真に「#さいたま食べつくスープ」と「@saitama\_sunday\_soup」を付けて投稿してください。



詳しくは、資源循環政策課(☎829・1338、FAX 829・1991)へ。